

週刊千恵

10月9日号 定価 440円



CHIE NO ISAN
千恵の遺産

驚愕
速報

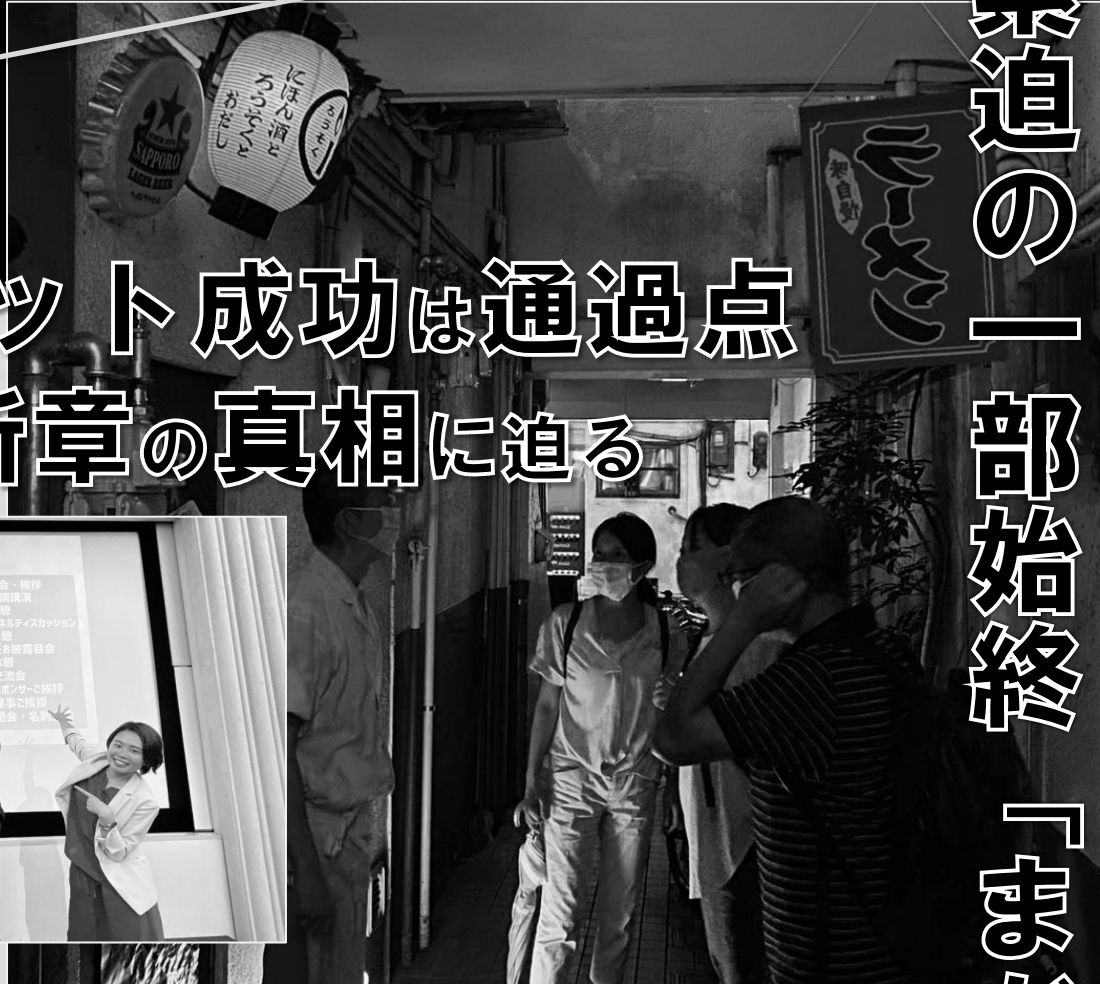
ツアーリストシツプ

闇夜の極秘会談は、 一大イベントへの布石な

のか!?

8.6サミット成功は通過点 ツツプ新章の真相に迫る

緊迫の
一部始終
「まだ言えない」



▲8.6初サミット。実績と課題、未来への軌跡を残した。情熱に満ちた4時間は、まさにツアーリストシツプ魂だ。

▲京都某日、千恵の遺産の極秘会議を終えた面々が店を出る。その様子に、ただならぬ自信と決意が漂う。



課題はあるか

「コロナ禍で動きづらいと言われてきましたが、ここにきて風向きを変えよう、千恵の遺産自身が新基準を模索しているという話もあります。で、きんこは何でトライしようという機運で満ちていますから、規模感では前回のサミットの比

世界を視野に

晩夏から初秋に差し掛かる京都の夜、千恵の遺産（一般社団法人CHIE-NO-WA）の面々が頬を赤らめ姿を見せた。八月六日に開催された第一回のツアーリストシツプサミットでは、各専門家のパネルディスカッションや、伝統職人の方々の講話、そして交流会まで、四時間きりりのプログラムにも関わらず百数名が参加する大盛況ぶり。あの熱気はまだ記憶に新しい。あれから一か月、改めてツツプはこの先どこに向かおうとしているのか。ある関係者は言う。

「もう既に次の構想が立ち上がっています。本質的に世に広がるためには、もっと大規模な機会を創れないかと既に大会場を見下しているという情報もあります。」しかし具体的なその「大規模な機会」とは一体何を指すのか。疑問符は依然残る。



▲熱を帯びる田中代表(上)と抱理事(右)、田辺理事(左)。サミット成功を足掛かりに、この先の展望は明るい。

自信しかない

後日、田中代表にその会談内容を問い合わせたところ、フアックスで回答を得た。「まだ正式に何も決まっていなというのが正直なところですが、決まっていることとすれば、ツアーリストシツプは今後ほとんど世界に広がる、ムーブメントを起すという点の曇りも、ありません。」自信と確信がにじみ出る。千恵の遺産の壮大なプロジェクトが始まる。この先ツツプがどんなことやってけるのか。大会場で何を起すのか。興味は尽きない。

「サミット大盛況の日、抱理事の呼びかけのもと、八月六日が正式に『ツアーリストシツプの日』に制定された。それは世界にツアーリストシツプが広がる始まりを意味していた。常に大きく、広げるツアーリストシツプの視界に、狂いはまるで見当たらない。課題もあります。大規模会場で何を伝えるか、何を目的に開催するのか。その根幹がああ夜の極秘会談で話されたのかも知れません。」

「世界を視野に」

「まだ言えない」